

2024.2.13

サローネ国際バスルーム見本市 併催イベント

「Under the Surface / アンダー・ザ・サーフェス」

ミラノサローネでは、大規模な展示プロジェクトにより、バスルーム家具産業における水資源の足跡と価値を考察

倫理、持続可能性、テクノロジー、そして水の力、魅力、はかなさ。「アンダー・ザ・サーフェス」は、さまざまな考察から生まれた、責任ある家具製造の価値に関する議論の一端を担う、非常にエモーショナルなデザイン・プロジェクトです。

デザイン、特にバスルームのデザインは、**水の持続可能性**という点で、実際にどこまで進んでいるのでしょうか？水の保全、効率化、そして資源の適切な利用を促進する戦略策定が急務であることを認識したとき、生産者と消費者を支援することはできるのでしょうか？業界にはどのような具体的かつ最新のツールや技術があり、どの製品がすでにこの課題に取り組んでいるのでしょうか？これらは、**エミリアーノ・ポンツィ、アキュラット(データビジュアライゼーションスタジオ)、デザイン・グループ・イタリア**によって**デザイン・実現し**、サローネ国際バスルーム見本市のホール10で開催する**インスタレーション「アンダー・ザ・サーフェス」**を通して、バスルーム家具製造の現状を把握するために始まった問いかけで、これは第62回ミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)のプロジェクトのほんの一部に過ぎません。

水の問題に直面している今、私たちは**パラダイムとビジョンの根本的な転換**、資源の使用に関する新たな教育、そして**変革は可能である**という認識が必要であることを意識し、ミラノサローネは異なる専門家を招き、**地球上で最も貴重な資源との前向きで尊重すべき関係**、そして、より意識的で責任ある水の使用に向けて**バスルーム家具部門が果たせる役割**について議論しました。**エミリアーノ・ポンツィ、アキュラット、デザイン・グループ・イタリア**とのコラボレーションは、**ビジョン、スキル、インスピレーションの統合**により、世界の水資源の重要性に焦点を当て、私たちの生活において水が果たす**中心的な役割**を、**力強く、意味のある表現**として具現化しました。

【インスタレーション】

このインスタレーションは水没した島の形をとっており、生命の源としての水と、私たちと水との関係にまつわる課題を象徴しています。絶え間なく動く光の反射の海に沈むこの島は、単に視覚的な物語を喚起するだけでなく、水の使用に関連する私たちの日常的な習慣がもたらす影響について気づききっかけとなる重要な物語を語る媒体でもあります。水没した谷やレリーフの中で、絶え間なく変化する光の反射は、世界の水消費に関するデータを表すようにデザインされており、統計や数字を感情的で魅力的な視覚体験に変えています。

【データビジュアライゼーションデザイン(データ視覚化のデザイン)】

抽象と現実の間に位置するインスタレーションの内には、より親密で内省的な空間を提供するニッチがいくつかあります。ダイナミックなデータビジュアライゼーションの革新的な活用により、バスルーム家具の分野における節水に関連する技術と製造の進歩が語られます。これらのビジュアル・ナラティブは、国際バスルーム見本市で発表される新製品が、製造過程と日常使用の両方で、いかに水の消費を削減するように設計されているかを示しています。データビジュアライゼーションという直感的な言語を使用することで、来場者はこれらの技術革新がもたらすポジティブな影響を即座に理解することができ、より持続可能な未来のために採用することの重要性を伝えるために、複雑なデータを簡単にアクセスできる視覚的に魅力的な情報に変えることができます。

デザインチームのコメント:

「『アンダー・ザ・サーフェス』は、私たちが生きている世界の複雑さを物語っています。物事の表面を分析するだけではもはや十分ではなく、その本質に迫ることが不可欠です。物事を理解し、学び、より良い人間、より良い消費者になるためには、物事と自分自身を深く見つめることが唯一の方法なのです」

ミラノサローネ、マリア・ポッロ代表のコメント:

「デザインと環境に配慮した大きな空間のインスタレーションでは、『知識』と『責任』という言葉が基本となっており、知識、スキル、技術をどのように結びつけるかを知ること、この場合、水を尊重することによって生活を向上させるプロジェクトや製品を生み出すために



いかに重要であることを示しています。『アンダー・ザ・サーフェス』によって、サローネは幅広い人々にアピールする物語に命を吹き込み、決して平凡でなく、感情的でさえある思考のきっかけを与えます。今日、私たちはこれまで以上に、日々の選択が未来に与える影響を意識しなければなりません」

『アンダー・ザ・サーフェス』は、水資源を消費し続けることなく、好循環的なエコロジカル・パスを活性化することによって、自然との共生の中で製品を生み出す新たな方法が想像できることを示しています。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it